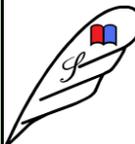


令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立翔陽高等学校</b> 全日制課程			進路実績	四年制大学 76%	短期大学 1%	専門学校 13%	就職 1%	その他 9%				
	高尾から夢の実現！ 「チーム翔陽」で未来へはばたこう！				特徴 四年制大学進学を中心とした高い進路決定率。								
基本情報	所在地	〒193-0944 八王子市館町1097番地136		電話番号	042-663-3318								
	アクセス	(1) JR中央線高尾駅下車、京王バス館ヶ団地行き(約7分)医療センター下車1分 (2) 京王線高尾駅下車、京王バス館ヶ丘団地行き(約7分)医療センター下車1分 (3) 京王線狭間駅下車、徒歩15分											
本学情報	学科	普通科											
	在籍生徒数	712名(男子283名、女子429名)											
特色	教育課程の特徴	単位制、セメスター制(前期・後期での単位認定)、土曜授業、習熟度別(国数英)											
	ホームページ	<a href="http://www.shoyo-h.metro.tokyo.jp/site/zen/">http://www.shoyo-h.metro.tokyo.jp/site/zen/</a>		自律経営推進予算 02年度(単位:万円)	2,291								
その他	進学指導研究校、英語教育推進校、スポーツ強化特別校	校 服	制服	男子:プレザー(紺) 女子:プレザー(紺)									
	募集人員	推薦:男女を問わず48人、学力:男女を問わず188人											
本学情報	入学者選抜情報	30年度入学生	推薦	男子	-	31年度入学生	推薦	男子	-	02年度入学生	推薦	男子	-
	学力検査	男子	-	女子	1.56	男子	-	女子	1.77	男子	-	女子	1.69
その他	その他の特徴	『進学指導』『国際理解教育』『探究的な学び』『豊かな人間性の育成』に重点を置いた教育活動											
	主な学校行事	体育祭(5月)、合唱祭(6月)、English Camp(8月)、文化祭(9月)、海外修学旅行(11月)											

目指す学校  
「目学・自律・自信」をモットーに、『進学指導』『国際理解教育』『探究的な学び』『豊かな人間性の育成』に重点を置いた教育活動を組織的・計画的に推進する。そして、自らの夢の実現に向け、高い志を抱いて主体的に学び、社会に貢献し国際社会で活躍できる人材を育成する進学校を目指す

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>組織的・計画的な学校運営</b> ○新学習指導要領の研究を進め、教科主任会の定期的な実施等により、考査問題の統一や習熟度別展開授業等についての改善を進める。 ○ホームページへの各分掌・部活動からでの情報発信を活発にし、広報活動を充実させる。また、ホームページのリニューアルにも取り	○新学習指導要領に基づく新教育課程や移行期間における教育課程について、教育課程委員会や教科主任会を活用して作成することができた。【A】考査問題の統一や習熟度別展開授業の改善については、今後も教科主任会を活用していく【B】 ○ホームページについては、リニューアルのためのプロジェクトチームを設置し、年度末までに新たなホームページを立ち上げることができた。また、ホームページからの情報発信も活発に行い523回の更新をおこなった。【A】 ○拡大分掌部会・校内研修会を開催することにより、年次間や年次と分掌間の情報共有を円滑に行うことができた。【B】	
目標②	<b>探究的な学びの推進と授業改善</b> ○探究的な学びと「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業研究を行う。家庭学習の重要性を説き、その質的・量的向上を促す。 ○模擬試験や定期考査等の生徒の学習活動の結果及び生徒による授業評価の結果等の分析・検討を行い、教科・年次・進路指導部	○探究的な学びを推進するため、新たに校務分掌として「国際探究部」を設置し、「総合的な探究の時間」を中心に探究的な学習を進め、1・2年次は探究成果発表会を開催することができた。【A】 ○各教科での探究的な学びについては、グループ学習活動が制限されたこともあるが、生徒が主体的に考えたりまとめたり発表したりする活動を短時間でも取り入れる教科・科目が増加している。【C】 ○教科会を活用した模試分析や大学入試共通テスト分析を行った。また、若手教員を中心として他校への授業見学やオンラインでの授業研究、予備校等主催のセミナー等への参加を行い授業改善の材料としている。【B】	
目標③	<b>キャリア教育の充実</b> ○「はばたきタイム」の内容改善に努め、キャリア教育の充実を図る。 ○学問調査や上級学校見学等を行うことにより、早い段階での希望進路を確定させる。高い志の維持に努め、上・中位層を伸ばし、国公立及び難関私立大学の現役合格者数を増加させる。	○総合的な探究の時間である「はばたきタイム」については、「はばたきガイダンスブック」を全面改訂し、キャリアパスポートの要素とポートフォリオの要素を含めた冊子に改良した。【A】 ○新型コロナウイルス感染症拡大のため、大学訪問・オープンキャンパスが中止やオンライン開催となり、生徒・保護者の意識がより安定志向となってしまった。そのため、指定校への応募者数が多くなった反面、難関大学への現役合格者数は伸びなかった。教科主任会を活用した分析会等を行い、家庭学習の定着や高い志の定着を図る必要がある。【C】 ○年度末に3年間を見通した面談計画を作成した。今後は、より計画的・組織的なキャリア教育を進める。【B】	

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	生徒の授業満足度(%)	90	84	90	86	90	82	90	83	90	90	90
目標②	国公立大学及び早慶上理GMARCHの現役合格者数	5,55	4,25	5,35	7,43	10,35	6,36	5,45	2,35	10,45	10,50	10,50
目標③	入学者選抜の推薦及び学力に基づく選抜における応募倍率	2.50,1.40	1.56,1.28	2.00,1.40	1.77,1.24	2.00,1.40	1.69,1.04	1.4,1.2	2.48,1.44	1.4,1.2	1.4,1.2	1.4,1.2

